

京都新聞

歳末ふれあい募金

〈ご協力をお願いします〉

地域福祉に役立てます

2025年もあともわずかとなりました。恒例の「歳末ふれあい募金」を今年も11月27日（木）から12月26日（金）まで受け付けます。

京都新聞社会福祉事業団は「ともに生きる」をテーマに福祉活動を通して、潤いのある豊かな社会の未来を考える場になることを願い、苦境に立つ人たちや福祉施設、団体の助成・支援活動に力を入れています。皆様の温かい善意をお寄せくださいますようご協力をお願いします。

公益財団法人京都新聞社会福祉事業団への寄付金は、個人に対して所得税額の控除や、自治体によっては住民税額控除ができるほか、法人も含めて税優遇が受けられます。



障害のある人のための事業



高齢者のための事業



奨学金支給や子育て応援事業



福祉施設・団体を支援

お届け方法

- 京都新聞社会福祉事業団にご持参いただく場合は、土・日を除く午前10時から午後5時にお願います（旧本社から京都新聞トラストビル4階に移転しました。地図をご参照ください）。
- ※当事業団では硬貨計算機での集計が可能です。
- 郵送の場合は、現金書留をお願いします。
- ゆうちょ銀行、郵便局からの送金は、**01010-1-9888** 加入者名 公益財団法人京都新聞社会福祉事業団
- ※振り込みで硬貨取扱料金がかかる場合があります。
- ※金額とお名前は、京都新聞朝刊に掲載します（送金の場合5～6日後）。匿名を希望される場合はお申し出ください。掲載後に確定申告に必要な証明書を送ります。必要でない方は通信欄に【送付不要】とご記入ください。
- ※京都新聞滋養本社、最寄りの総・支局、京都新聞販売所へご持参いただいても結構です。
- ホームページ・モバイルサイトから電子決済での受け付けが可能です。

新事務所に移転しました。



新事務所

協力先の金融機関からは手数料無料です

京都銀行、京都中央信用金庫、京都信用金庫のご協力でそれぞれの本・支店の窓口にて、当事業団の所定の振込用紙で送金いただきましたら振込手数料は無料です。

※ATMやインターネットバンキングは対象外となります。

口座名はいずれも（公財）京都新聞社会福祉事業団です。

※カタカナの場合は、（ザイ）キョウトシンブンシャカイフクシギョウダン

京都銀行本店	[当座]	139257
京都中央信用金庫本店	[当座]	36179
京都信用金庫三条支店	[当座]	12230

※ATMやインターネットバンキングからのご寄付の場合は、お手数料ですが下記までご連絡をお願いします。領収証等をお送りします。



各種、催しなどでご協力いただける団体には、募金箱（写真）の貸し出しを行っています。

公益財団法人
京都新聞社会福祉事業団

協力: 京都新聞販売連合会

〒604-0857京都市中京区烏丸通二条上ル蒔絵屋町260
京都新聞トラストビル4階
TEL.075-241-6186 FAX.075-222-2515
<https://fukushi.kyoto-np.co.jp/>

受付時間／午前10時～午後5時（土・日は休み）
【交通のご案内】地下鉄烏丸線「丸太町駅」南改札6番出口から徒歩2分
※公共交通機関でご来社ください。



公益財団法人京都新聞社会福祉事業団の活動は 皆さまに支えられています

障害のある人の ための事業

障害者就労支援事業所などで生産された商品を展示販売する「京都新聞福祉事業所フェスティバル」の開催や就労支援シンポジウム、余暇をボランティアらと交流する「みんなで海釣りー障害のある人の体験講座」、各種障害者スポーツの開催など多くの事業を行っています。

高齢者の ための事業

高齢者施設の集いに演奏家を派遣する「おでかけ公演」事業や特別養護老人ホームへの介助用車いす贈呈事業、在宅福祉サービスを受ける高齢者を支援する非営利の団体や事業所に介護用品の助成を行っています。

子どもの ための事業

児童養護施設の子どもたちに、レクリエーションの費用を補助し、楽しい時間を過ごしてもらう事業や中学・高校を卒業し施設を巣立つ生徒には、「卒業お祝い金」を、小・中・高校を卒業する交通遺児には図書カードを贈っています。

子育て応援事業

子育て支援のサークルや子育て中の親子のグループに「子育て仲間応援金」、子育て催事などに「子育て事業助成」を行い、子育て活動を支援しています。

福祉活動支援事業

京都、滋賀の福祉団体・施設やボランティア団体を支援する「運営助成」や設備の更新・整備を助成する「設備助成」を行い、活動を支援しています。

奨学金支給事業

学資援助を必要とする高校・大学生らに返済不要の「京都新聞愛の奨学金」を支給、児童養護施設の高校生に奨学激励金を贈り、支援しています。

福祉啓発事業

京都新聞紙面「福祉のページ」やホームページ「ともに生きる」などで福祉情報を発信しています。地域福祉のための「善意の小箱」など各種の寄付金の呼びかけもを行っています。

ボランティア活動 支援事業

当事業団が実施する福祉催しなどを援助するボランティアチーム「KOTOKOTO（コトコト）」メンバーが、さまざまな福祉事業に参加しています。

その他の福祉事業

地域の福祉催しの後援・助成をはじめ、災害発生時に被災者支援の救援金受け付けなどを行っています。

この他にも多彩な福祉事業を開催、支援しています
詳しくはホームページ・モバイルサイトをご覧ください



公益財団法人
京都新聞社会福祉事業団

